

こんなことができます!

住民主体の
地域づくりを
サポートします



学生たちと地域のイベントボランティア後の住民との交流会の場面



夢

福島の豊かな自然を
取り戻すこと、
1人ひとりが主役となる
社会を創ること

行政政策学類

千葉悦子

CHIBA Etsuko

教授 教育学博士

専門分野

ジェンダー学習論、地域づくり教育論、農村女性・家族論

特許情報、著書、論文

『飯館村は負けない—土と人の未来のために』岩波新書、2012、『希望への社会教育』東洋館出版、2013、『農山村家族の就労とジェンダー—被災地・福島県から—』（『女性労働研究』No57、2013年）



人が自らの労働や生活の主体として、あるいは地域の主体となることに関心をもち、地域社会をフィールドとして、小規模自治

体における住民参加と地域づくりに関する研究や農村のジェンダー問題を研究しています。震災後は特に原発被災者がエンパワーメントするためにどのような希望をつくる学びと体制が求められるか、アクションリサーチの手法で研究を進めています。

想定するパートナー

自治体、集落・自治会、公民館、男女共同参画センター

具体的な連携、事業化のイメージ

自治体や集落の計画づくりの調査、女性のリーダー養成

これまでの取組事例

福島県農業振興審議会委員(2006年～)
会津美里町地域総合戦略策定のための受託研究(2015)
原発事故で避難を余儀なくされた阿武隈高地の女性たちが立ち上げた「かーちゃんのカプロジェクト」を応援しています。また、「震災とジェンダー」という視点から講演やシンポジウムを通じて福島を今を発信し続けています。

- 教育
学習支援
- 健康
福祉
- 防災
都市計画
- 地域
産業振興
- 食・農
- 経営支援
- ファイナンス
- 人材育成
- 法律
- ライフ
サイエンス
- 情報通信
- 環境
- ナノテク
材料
- エネルギー
- ものづくり
技術
- 社会基盤
- フロンティア